

資料1

PIERS研究会

平成31～33年度（第3期）活動方針、及び、平成28～30年度活動実績、平成31年度活動計画総括表

H31/04/26 PIERS研究会総会承認

既定計画

今回提案

今回提示

今回提案

会則第4条事業	第2クール(平成28～30年度) 活動内容	第3クール(2019～2021) 活動方針	平成30年度活動実績	2019年度活動計画
研究会運営	<ul style="list-style-type: none"> ■役員会開催 ■会員数の拡大 ■会費の徴収および管理 ■関係団体との協力等 	<ul style="list-style-type: none"> ■総会・役員会を開催する ■会員の拡大を進める ■関係団体との連携強化を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ●総会 (H30/3/13) ●会員 31名 	<ul style="list-style-type: none"> ■総会を開催する('19/4/26) ■役員会を開催する(2回程度) ■国内関係諸団体との提携を進め、これまでの成果の活用を目指す
国際活動	<ul style="list-style-type: none"> ■海外棧橋及び海岸調査 ■英国棧橋協会との交流 	<ul style="list-style-type: none"> ■海外棧橋及び海岸に関する調査を継続する ■英国棧橋協会との交流を維持する 	<ul style="list-style-type: none"> ●欧州棧橋調査 (H30/7/8～7/16) バルト海(ドイツ)、北海(オランダ・ベルギー) 10棧橋 	<ul style="list-style-type: none"> ■英国棧橋協会総会参加を検討する(開催地:) ■海外については現地調査は実施せず、国内で研究の深化に取り組む
調査・研究活動 資料収集・保管・公開	<ul style="list-style-type: none"> ■沿岸域における地方創生研究会 ■海外の棧橋及びエスプラナードに関する研究 ■日本型エスプラナードに関する研究 ■今後の海岸管理のあり方 	<ul style="list-style-type: none"> ■・国名でのPIERS実現方策の検討のため優先するテーマを選定し、研究を進める ・海外の棧橋に関する調査・研究 ・日本版モデル棧橋プロジェクトの進捗 ・日本型エスプラナードに関する研究・提言 ・今後の海岸管理のあり方についての研究 ■上記研究のために国内の港湾・海岸の現地調査を実施する ■設立済みの研究会活動を充実する ・沿岸域における地方創生研究会 	<ul style="list-style-type: none"> ■欧州棧橋の現地調査実施及びそのとりまとめ バルト海(ドイツ)、北海(オランダ・ベルギー) 	<p>それぞれのテーマについて、会員から担当メンバーを公募して実施する</p> <ul style="list-style-type: none"> ■国内で棧橋を活用した地域活性化の調査研究を進める ・国内の棧橋・エスプラナード等の現地を視察する 対象 東北の震災復興における親水空間づくり、「モデル棧橋」候補となる親水空間エリア ・「日本版モデル棧橋PJ」によるアピール 国内での「モデル棧橋」候補の情報収集・リストアップ 「日本版(モデル)棧橋」の要件を策定、選定作業を進める ■「日本型エスプラナードづくり読本」作成に向けて研究を進める
コンサルティング業務 WF計画の促進		<ul style="list-style-type: none"> ■アドバイザー活動 ・要請に応じて取り組む 	なし	<ul style="list-style-type: none"> ■アドバイザー業務等 ・当会のノウハウの活かせるテーマについては、前向きに取り組む
研究発表会、講演会等の開催、見学視察等の実施	<ul style="list-style-type: none"> ■沿岸域における地方創生研究会成果発表 ■日本型エスプラナード先行事例見学会 ■会員による自主研究発表会 	<ul style="list-style-type: none"> ■調査研究活動の内容について、PIERSフォーラム等での発表を充実する 	<ul style="list-style-type: none"> ●PIERSフォーラム ・2回開催 ⑤4/23、⑥1/31 ・話題提供 会員による英国主要棧橋の魅力の紹介 会員による沿創研ケーススタディーのフォローアップ 欧州棧橋調査の報告 	<p>会員から、テーマや講師の希望・提案を募集、講師との渉外など設営についての担当メンバーを公募する</p> <ul style="list-style-type: none"> ■PIERSフォーラム継続・充実 ・年2～3回程度開催する ・幅広い話題提供に努める 会員による英国・欧州の主要な棧橋の魅力の紹介 会員による沿創研ケーススタディーのフォローアップ 外部講師による講演 自主研究成果の発表 ・行政(国、地方)・財団等の関係者のさらなる参画を目指す
啓発・広報活動	<ul style="list-style-type: none"> ■冊子「英国棧橋の魅力」(仮)の制作・公表 ■Webの立ち上げ ■学会等への論文投稿 ■日英協会主催の講演会や港湾関連団体主催のセミナーでの発表 	<ul style="list-style-type: none"> ■ホームページの一層の充実を図る ■学会誌等へ論文を投稿する ■日英協会主催の講演会や港湾関連団体主催のセミナーでの発表を検討する ■地方創生への活用に向けて、国、地方への浸透に努める ■内部資料という位置づけは変えない範囲で、これまでの報告書の配布条件緩和を検討する 	<ul style="list-style-type: none"> ●2018欧州棧橋調査結果の広報 ・PIERSフォーラムk第6回で報告(参加者数50名) ・報告書300部印刷、関係者等に配布 ●PIERS研究会ホームページの更新 ・ニュース欄の研究会活動の予定及び実績を随時更新 海外調査の概要、フォーラムの内容を公開 ●関係機関との意見交換 港湾局、関東地整、WAVE、CDIT、SCOPE 	<ul style="list-style-type: none"> ■PIERS研究会ホームページの更新と充実を継続 ・フォーラム等の活動実績などニュース欄の随時更新 ・研究会の調査・研究活動の成果を適時に掲載 欧州棧橋現地調査のとりまとめ 国内「棧橋候補」群に関する情報提供 ■発行済みの報告書を余部の範囲で望者に実費で配布 配布条件 PIERS研の目的に資する、実費、内部資料扱い PIERS研の著作権は留保、著作権にはコミットしない、